

研究調査報告書

技術・家庭科（家庭分野）

項目	新編 家庭分野 新しい技術・家庭 自立と共生を目指して (東 書・2)
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために学習の目標が明確になっており、学んだことが確認できるようになっている。</p> <p>○学んだ知識や技術を生活に生かすために、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されていて、実践のまとめと発表の仕方が丁寧にまとめられ、工夫されている。</p> <p>○衣食住などの伝統文化について、全部の編にわたって、「伝統・文化」のマークをつけ、学習する視点を示している。</p>
特色 特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○各編の初めに「学ぶこと」があり、その中の節ごとに「目標」が記載され、編末には「学習のまとめ」で振り返りや自己評価ができるようになっている。また、実習の時に確かめたい技能を「基礎技能」として示している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○家庭分野の学習と関わる独特な言い回しや名称を「言葉のページ」で解説している。 ○学習のまとめとしての「まとめよう」や「生活に生かそう」において、学習内容のまとめや自分の考えを表現することができるよう設定している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○各節の始めには、「始めの活動」（考えてみよう、やってみよう、話し合ってみよう、調べてみよう）を設け、学習への関心・意欲を高め、課題意識を持って主体的に学習に取り組めるようにしている。 ○他のページや技術分野、他教科の関連させながら学習を深め広げることができるよう「リンク」「他教科」が設定されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫> ○各編にわたって実習例が豊富に載せてあり、連続写真などで手順がわかりやすくなっており、実践しやすいように工夫されている。特に調理実習では組み合わせで1食分の献立として考えられるようになっている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫> ○全ての学習後に「生活の課題と実践」のページを設けており、実践の流れを「1 課題の発見 2 計画 3 実践 4 振り返り、見直し 5 改善 6 次の課題」と共通した流れで示している。それぞれの実践例では、まとめ方や発表の仕方が明記され、実践においての見通しを持たせるようにしている。</p>
資料	<p>○「手ばかり」、「目ばかり」を実物大の写真で取り上げたり、幼児の靴や箸を実物大で取り上げたりして、視覚から分らせるようになっている。</p> <p>○巻頭に「実習の安全」として写真やイラストでわかりやすく提示してある。また、このページにリンクマークで、関連ページが明記されていて、確認しやすい構成になっている。また防災や食物アレルギーに関する資料も掲載している。</p>
表記・表現	<p>○1～4編が4色別になっていてツメ見出を設け、編で学ぶことを小学校の学習内容と関連させて表記している。</p> <p>○題材名や資料部分はゴシック体、内容文は明朝体、重要語句は太字を用いて表記している。</p> <p>○ページの右下にクイズを示し、次のページの左下に答えを掲載している。</p>
総括	<p>最初にガイダンス。続いて、B「食生活」C「衣生活・住生活」A「家族」D「消費・環境」の順になっており、学習内容も導入、基礎、実習、発展的な学習へと流れている。また、「生活の課題と実践」は巻末に掲載されている。</p> <p>「自立と共生」を目指すという目標が全体に行き渡っており、自ら課題解決学習ができるように配慮されたつくりになっている。</p>

研究調査報告書

技術・家庭科（家庭分野）

項目	<p style="text-align: center;">新技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: right;">（教 図・6）</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、写真やイラストをたくさん掲載してわかりやすくするための工夫をしている。</p> <p>○学んだ知識や技術を生活に生かすために、内容ごとに「生活の課題と実践」を設定し、具体例を写真等を用いて示し個人やグループで実践できるようになっている。</p> <p>○衣食住などの伝統文化について年中行事、全国各地の郷土料理や和服を写真やイラストで示し取り上げている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○各項目ごとにキーワードチェック欄があり、重要な語句の理解を確認できるようになっている。各内容の終わりには「学習のふり返し」があり、基本的な内容の定着を確かめることができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○生徒に身につけさせたい表現力やコミュニケーション能力を高めるために、グループでの話し合いやロールプレイング、体験学習などの実習が盛り込まれている。</p> <p>○「まとめよう」「考えよう」「話し合おう」等の学習活動を各所に設定している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○章や節の導入で「自立度チェック」や「クイズ」を取り入れ、生徒の視覚に訴えるとともに、自分の課題に気付かせ、興味・関心を持って学習に取り組めるようにしている。</p> <p>○「調べよう」「やってみよう」を効果的に設け、生徒がより関心を持って学習する工夫がされている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫> ○調理および被服の実習例を数多く掲載し、実習過程も写真やイラストで示しわかりやすくなっている。さらに、調理の「ポイント」を赤い枠で示し、生徒が理解しやすくなっている。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫> ○各内容の学習後に「生活の課題と実践」のページを設けており、見開きで紙面を構成している。「ステップ1 課題を見つける 2 計画を立てる 3 実践する 4 まとめ・発表する 5 ふり返る 6 次の実践へつなげる」の共通した流れで例示している。その流れの中に吹き出しを設け、取り組みやすいように工夫されている。</p>
<p>資料</p>	<p>○食品の切り方や幼児の手形など、わかりやすく実物大の写真に掲載している。</p> <p>○実習にかかわる安全については、「安全マーク」を付したり、本文を太字にしたりして、注意を促している。また、防災に関する資料も掲載している。</p> <p>○口絵の「年中行事とわたしたちの暮らし」や「全国各地のおもな郷土料理」など伝統文化についての資料を掲載している。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○爪見出しを各内容と章別に色分けするとともに、学習内容を短い言葉で示している。</p> <p>○題材名や資料部分は、ゴシック体、本文は明朝体、重要な語句は、太字で強調されている。</p> <p>○調理実習の材料を6つの基礎食品群に分類し、分類した食品群をサイコロの目で表している。</p>
<p>総括</p>	<p>最初にガイダンス。続いて、A「家族」 B「食生活」 C「衣生活・住生活」 D「消費・環境」の順になっており、学習内容も導入、基礎、実習、発展的な学習へと流れている。また、「生活の課題と実践」は内容毎の最後に掲載されている。「キーワードチェック」や「学習のふり返し」により自分で学習できるように構成されている。生徒が興味関心を持てるように、イラストを多く用いた内容となっている。</p>

研究調査報告書

技術・家庭科（家庭分野）

項目	<p style="text-align: center;">技術・家庭 家庭分野</p> <p style="text-align: right;">（開隆堂・9）</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、「やってみよう」「話し合ってみよう」等で、あらかじめ考えさせたり、調べさせたりするようになっている。</p> <p>○学んだ知識や技術を生活に生かすために、巻末に「生活の課題と実践」としてまとめ、興味・関心に合わせて課題例が選択できるよう工夫されている。</p> <p>○衣食住などの伝統文化について、「伝統文化」のマークで示して、家庭や地域において、具体的に実践できる内容となっている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色</p> <p style="text-align: center;">内 容</p>	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○「学習の目標」に対し、「ふり返り」または「学習のまとめ」で自己評価をすることで、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。また、基本的な食材の切り方や縫い方を写真で示し、技能の定着が図れるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「話し合ってみよう」「考えてみよう」という導入の部分やロールプレイングという手法を設けることによって、思いや考えを述べあう場面を設定し、内容を深める工夫がなされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「調べてみよう」「やってみよう」などのコーナーが題材の最初に数多く配置され、自ら学習に取り組む導入として設定されている。</p> <p>○巻末の「生活の課題と実践」では、多くの課題例を設定している。また、他の内容や、技術、他教科等と関連するところにリンクマークを設けて主体的な学びが出来るように紹介されている。</p> <p><実践的・体験的な学習活動を行う工夫></p> <p>○興味をもって学習に取り組めるよう、活動例が具体的に示されている。衣服の実習例では、事例を数多く取り上げ、易しいものから難しいものへ、基本的な内容から応用へ無理なく学習が進められるよう配慮した配列に工夫がみられる。</p> <p><課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫></p> <p>○全ての学習後に「生活の課題と実践」のページを設けており、実践の流れを「ステップ1 課題 2 計画 3 実践 4 結果 5 評価」と共通した流れで示している。「リンクマーク」を付して既習の内容を振り返らせるとともに、思考・判断・表現させるための手立てを具体的に明記している。</p>
<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>○食材や幼児の手形などを実物大でわかりやすく示したり、中学生の実習場面を多く掲載したりしている。</p> <p>○実習にかかわる安全・衛生については、「安全」「衛生」マークにより、注意事項が記述されている。各題材で安全と関わることについて、具体的に示している。また防災や食物アレルギーに関する資料も掲載している。</p>
<p style="text-align: center;">表記・表現</p>	<p>○内容A B C Dを色分けし、爪見出しで分かりやすく示している。爪見出しには関連する内容の写真やマークなどを示している。</p> <p>○題材名や資料部分はゴシック体、内容文は明朝体で書かれ、重要語句は太字を用いて表記している。</p> <p>○各ページの下部分に豆知識を掲載している。</p>
<p style="text-align: center;">総 括</p>	<p>最初にガイダンス。続いて、A「家族」B「食生活」C「衣生活・住生活」D「消費・環境」の順になっており、学習内容も導入、基礎、実習、発展的な学習へと流れている。また、「生活の課題と実践」は巻末に掲載されている。</p> <p>生活の自立と共生という視点で各内容が構成されており、自立をめざすことを大きな目標に掲げて学習を進めていくということが打ち出されている。</p>